

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2022年6月20日まで（2012年6月18日設定）	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・シンガポール・リミテッドが運用を行います。	
主要運用対象	三菱UFJインド債券オープン（毎月決算型）	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラス	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJインド債券オープン （毎月決算型）

愛称：インドの宝

第58期（決算日：2017年4月18日）

第59期（決算日：2017年5月18日）

第60期（決算日：2017年6月19日）

第61期（決算日：2017年7月18日）

第62期（決算日：2017年8月18日）

第63期（決算日：2017年9月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJインド債券オープン（毎月決算型）」は、去る9月19日に第63期の決算を行いましたので、法令に基づいて第58期～第63期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率				
	円	円	円	%	%	%	%	百万円
34期(2015年4月20日)	13,542	70		△1.0	0.0	—	97.7	486
35期(2015年5月18日)	13,211	70		△1.9	0.0	—	98.3	515
36期(2015年6月18日)	13,548	70		3.1	0.0	—	97.8	490
37期(2015年7月21日)	13,666	70		1.4	0.0	—	98.1	507
38期(2015年8月18日)	13,387	70		△1.5	0.0	—	97.8	520
39期(2015年9月18日)	12,772	70		△4.1	0.0	—	97.3	504
40期(2015年10月19日)	13,033	70		2.6	0.0	—	98.2	511
41期(2015年11月18日)	13,217	70		1.9	0.0	—	98.9	521
42期(2015年12月18日)	13,001	70		△1.1	0.0	—	98.2	530
43期(2016年1月18日)	12,149	70		△6.0	0.0	—	97.8	510
44期(2016年2月18日)	11,680	70		△3.3	0.0	—	100.1	481
45期(2016年3月18日)	11,714	70		0.9	0.0	—	98.7	496
46期(2016年4月18日)	11,590	70		△0.5	0.0	—	97.9	496
47期(2016年5月18日)	11,519	70		△0.0	0.0	—	97.5	502
48期(2016年6月20日)	10,933	70		△4.5	0.0	—	98.0	475
49期(2016年7月19日)	11,163	70		2.7	0.0	—	97.4	508
50期(2016年8月18日)	10,744	70		△3.1	0.0	—	97.5	500
51期(2016年9月20日)	10,844	70		1.6	0.0	—	97.9	532
52期(2016年10月18日)	11,134	70		3.3	0.0	—	97.9	566
53期(2016年11月18日)	11,594	70		4.8	0.0	—	98.1	646
54期(2016年12月19日)	12,473	70		8.2	0.0	—	98.0	949
55期(2017年1月18日)	11,884	70		△4.2	0.0	—	99.0	1,021
56期(2017年2月20日)	11,875	100		0.8	0.0	—	98.1	1,270
57期(2017年3月21日)	12,008	100		2.0	0.0	—	99.7	1,395
58期(2017年4月18日)	11,679	100		△1.9	—	—	100.4	1,567
59期(2017年5月18日)	11,974	100		3.4	—	—	99.3	1,954
60期(2017年6月19日)	11,913	100		0.3	—	—	99.2	2,842
61期(2017年7月18日)	12,106	100		2.5	—	—	99.1	3,829
62期(2017年8月18日)	11,893	100		△0.9	—	—	98.0	4,850
63期(2017年9月19日)	11,913	100		1.0	—	—	98.0	5,382

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	証 券 率
			騰 落 率	率						
第58期	(期 首)	円	%	%	%	%	%	%	%	%
	2017年3月21日	12,008	—	0.0	—	—	—	—	99.7	—
	3月末	12,026	0.1	0.0	—	—	—	—	98.0	—
第59期	(期 末)									
	2017年4月18日	11,779	△1.9	—	—	—	—	—	100.4	—
	4月末	12,039	3.1	—	—	—	—	—	99.4	—
第60期	(期 首)									
	2017年5月18日	12,074	3.4	—	—	—	—	—	99.3	—
	5月末	11,974	—	—	—	—	—	—	99.3	—
第61期	(期 末)									
	2017年6月19日	12,013	0.3	—	—	—	—	—	99.2	—
	6月末	12,110	1.7	—	—	—	—	—	101.5	—
第62期	(期 首)									
	2017年7月18日	12,206	2.5	—	—	—	—	—	99.1	—
	7月末	12,106	—	—	—	—	—	—	99.1	—
第63期	(期 末)									
	2017年8月18日	11,993	△0.9	—	—	—	—	—	98.0	—
	8月末	11,969	△1.1	—	—	—	—	—	100.6	—
第64期	(期 首)									
	2017年9月19日	12,013	1.0	—	—	—	—	—	98.0	—
	8月末	11,893	0.0	—	—	—	—	—	97.1	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

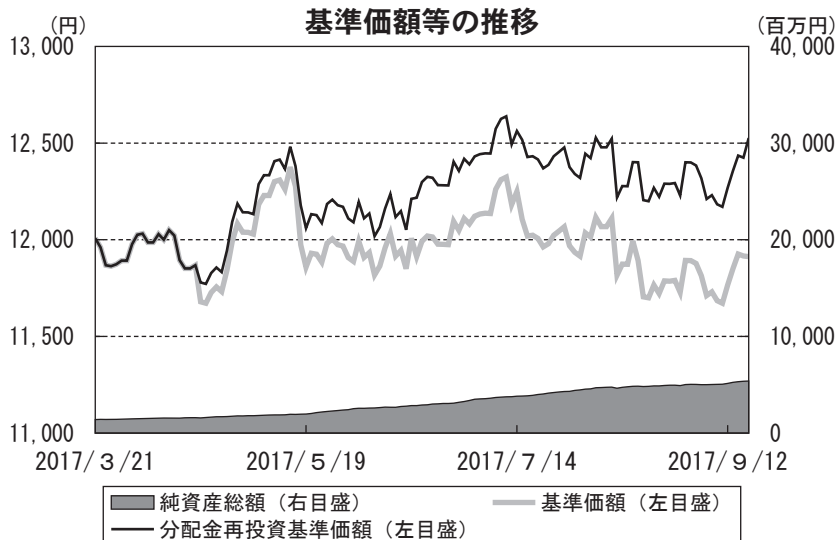
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について（第58期～第63期：2017/3/22～2017/9/19）

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を獲得したこと、インドルピー建てインド国債が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第58期～第63期：2017/3/22～2017/9/19）

金利の推移



（注）現地日付ベースで記載しております。

◎債券市況

- ・インドルピー建てのインド債券市場では、インドの2017年1～3月期の国内総生産（GDP）の成長率が市場予想を下回ったことなどが影響し、当作成期を通じて見ると、インド金利は低下しました。
- ・米ドル建てのインド債券市場では、米国の政治的な不透明感や北東アジア地域の地政学的リスクに対する懸念の高まりを背景にリスク回避の動きが強まったことなどが影響し、当作成期を通じて見ると、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。

為替市況の推移
（当作成期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・2017年4月にインド準備銀行（中央銀行）が市場予想に反してリバースレポ金利を引き上げたことやモンスーン期の降雨量が平年並みとの予報が好感されたことなどがインドルピーの上昇材料となった一方、米国の経済政策等に対する不透明感や東アジア地域の地政学的リスクに対する懸念の高まりを背景にリスク回避の動きが強まったことなどがインドルピーのマイナス材料となり、インドルピーは対円で値動きの荒い展開となりました。結果的に、当作成期を通じて見ると、インドルピーは対円で上昇しました。

◎国内短期金融市場

- ・ 当作成期の短期金融市場を見ると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は、マイナス金利の適用以降であることから、マイナス圏で推移しました。2017年9月19日のコール・レートは-0.061%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJインド債券オープン（毎月決算型）>

- ・ 円建て外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラスへの投資を通じて、インドの債券等を高位に組み入れました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。
- ・ 当作成期は、債券の利子収益を獲得したこと、インドルピー建てインド国債が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどが寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

<アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラス>

基準価額は当作成期首に比べ5.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

◎種別構成等

- ・ インド関連の発行体が発行するインドルピー建て債券や米ドル建て債券などを組み入れたポートフォリオで運用しました。インドルピー建て債券については、流動性等を勘案し、国債を中心に事業債や政府機関債等を組み入れて運用しました。米ドル建て債券については、ファンダメンタルズが良好と考えるインド関連の発行体が発行する事業債を中心に、国際機関債を一部組み入れて運用しました。
- ・ 米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物を売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを概ね回避しました。為替については、米ドル売りインドルピー買いの為替取引を行い、インドルピーの比率を高位としました。
- ・ 当作成期は、ファンドの純資産が増加する中、インドルピー建てのインド国債や米ドル建てのインド事業債などを買い増しました。
- ・ 当作成期を通じて見ると、債券の利子収益を獲得したこと、インドルピー建てインド国債が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどが寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

2017年2月末

2017年8月末

最終利回り	3.98%	➡	最終利回り	4.39%
デュレーション	2.42年		デュレーション	2.65年

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

＜マネー・マーケット・マザーファンド＞

基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。

- ・残存期間の短い社債を組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用等の影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2017年3月22日～ 2017年4月18日	2017年4月19日～ 2017年5月18日	2017年5月19日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月18日	2017年8月19日～ 2017年9月19日
当期分配金	100	100	100	100	100	100
（対基準価額比率）	0.849%	0.828%	0.832%	0.819%	0.834%	0.832%
当期の収益	50	50	42	99	41	52
当期の収益以外	50	49	58	0	58	47
翌期繰越分配対象額	4,393	4,351	4,300	4,423	4,369	4,326

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJインド債券オープン（毎月決算型）>

◎今後の運用方針

- ・円建て外国投資信託への投資を通じてインドの債券等を高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

<アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI2Jクラス>

◎運用環境の見通し

- ・インド債券市場では、公務員給与の引き上げなどを背景にインフレが今後上昇する可能性があることから、インド準備銀行はインフレ動向に影響を与える食品価格や財政状況などにも注視しながら中立的なスタンスで金融政策を行うと見えています。中長期的には政府の財政健全化策を含む構造改革などがインド債券市場にプラスに寄与すると考えます。
- ・為替市場では、バリュエーション面でインドルピーの割安感が薄れてきていると見ているものの、インドの構造改革が進展すると見込まれること、相対的に良好なファンダメンタルズや高い金利水準等を背景にインド債券市場に対する資金流入が継続すると見込まれることなどから、インドルピーは対米ドルや対円で底堅く推移すると考えます。

◎今後の運用方針

- ・インドの債券等に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合については、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。また、米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを回避します。
- ・インドルピー建て債券の組み入れを高めとし、債券種類別では国債のほか、財務基盤が優良だと考える政府機関債等や事業債も組み入れて運用します。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月22日～2017年9月19日)

項 目	第58期～第63期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(22)	(0.182)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.403)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	73	0.610	
作成期中の平均基準価額は、11,990円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2017年3月22日～2017年9月19日)

投資信託証券

銘 柄		第58期～第63期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円	
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-12Jクラス	355	3,823,150	-	-	

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月22日～2017年9月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年9月19日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第57期末		第63期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラス		130		486	5,277,827	98.0
	合 計		130		486	5,277,827	98.0

(注) 比率は三菱UFJ インド債券オープン（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第57期末		第63期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
	マネー・マーケット・マザーファンド		39		39	40

○投資信託財産の構成

(2017年9月19日現在)

項 目	第63期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 5,277,827	% 96.0
マネー・マーケット・マザーファンド	40	0.0
コール・ローン等、その他	222,256	4.0
投資信託財産総額	5,500,123	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第58期末	第59期末	第60期末	第61期末	第62期末	第63期末
	2017年4月18日現在	2017年5月18日現在	2017年6月19日現在	2017年7月18日現在	2017年8月18日現在	2017年9月19日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,626,119,937	2,135,294,077	2,955,194,428	4,003,144,573	4,977,500,693	5,500,123,659
コール・ローン等	51,616,990	194,999,298	134,088,341	206,967,480	222,088,308	222,256,076
投資信託受益証券(評価額)	1,574,462,872	1,940,254,704	2,821,066,012	3,796,137,018	4,755,372,310	5,277,827,508
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	40,075	40,075	40,075	40,075	40,075	40,075
(B) 負債	58,405,402	180,924,565	112,786,763	173,750,108	126,513,849	117,142,009
未払金	43,610,000	92,560,000	56,250,000	117,050,000	53,450,000	52,300,000
未払収益分配金	13,423,203	16,321,786	23,859,132	31,632,384	40,787,422	45,183,988
未払解約金	—	70,295,656	30,116,279	21,872,306	27,814,934	14,400,634
未払信託報酬	1,368,403	1,742,088	2,554,139	3,186,372	4,449,040	5,242,664
未払利息	75	295	258	368	331	435
その他未払費用	3,721	4,740	6,955	8,678	12,122	14,288
(C) 純資産総額(A-B)	1,567,714,535	1,954,369,512	2,842,407,665	3,829,394,465	4,850,986,844	5,382,981,650
元本	1,342,320,353	1,632,178,629	2,385,913,235	3,163,238,437	4,078,742,204	4,518,398,876
次期繰越損益金	225,394,182	322,190,883	456,494,430	666,156,028	772,244,640	864,582,774
(D) 受益権総口数	1,342,320,353口	1,632,178,629口	2,385,913,235口	3,163,238,437口	4,078,742,204口	4,518,398,876口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,679円	11,974円	11,913円	12,106円	11,893円	11,913円

○損益の状況

項 目	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
	2017年3月22日～ 2017年4月18日	2017年4月19日～ 2017年5月18日	2017年5月19日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月18日	2017年8月19日～ 2017年9月19日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	8,101,178	8,604,178	12,179,841	15,613,972	21,337,058	25,935,497
受取配当金	8,103,488	8,608,126	12,186,027	15,619,997	21,345,038	25,946,612
受取利息	51	—	—	223	87	207
支払利息	△ 2,361	△ 3,948	△ 6,186	△ 6,248	△ 8,067	△ 11,322
(B) 有価証券売買損益	△ 36,284,378	41,937,764	3,423,246	63,906,868	△ 51,379,547	38,851,115
売買益	230,878	47,380,490	3,447,258	64,770,609	972,844	38,834,885
売買損	△ 36,515,256	△ 5,442,726	△ 24,012	△ 863,741	△ 52,352,391	16,230
(C) 信託報酬等	△ 1,372,124	△ 1,746,828	△ 2,561,094	△ 3,195,050	△ 4,461,162	△ 5,256,952
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 29,555,324	48,795,114	13,041,993	76,325,790	△ 34,503,651	59,529,660
(E) 前期繰越損益金	△ 18,693,036	△ 51,070,109	△ 10,055,380	△ 6,944,996	37,138,936	△ 37,435,813
(F) 追加信託差損益金	287,065,745	340,787,664	477,366,949	628,407,618	810,396,777	887,672,915
(配当等相当額)	(596,428,441)	(718,198,795)	(1,039,781,195)	(1,361,664,233)	(1,769,123,710)	(1,963,197,944)
(売買損益相当額)	(△309,362,696)	(△377,411,131)	(△ 562,414,246)	(△ 733,256,615)	(△ 958,726,933)	(△1,075,525,029)
(G) 計(D+E+F)	238,817,385	338,512,669	480,353,562	697,788,412	813,032,062	909,766,762
(H) 収益分配金	△ 13,423,203	△ 16,321,786	△ 23,859,132	△ 31,632,384	△ 40,787,422	△ 45,183,988
次期繰越損益金(G+H)	225,394,182	322,190,883	456,494,430	666,156,028	772,244,640	864,582,774
追加信託差損益金	280,354,143	332,789,989	463,528,652	628,407,618	810,396,777	879,087,957
(配当等相当額)	(589,716,839)	(710,201,120)	(1,025,942,898)	(1,361,664,233)	(1,769,123,710)	(1,954,612,986)
(売買損益相当額)	(△309,362,696)	(△377,411,131)	(△ 562,414,246)	(△ 733,256,615)	(△ 958,726,933)	(△1,075,525,029)
分配準備積立金	44,527	24,133	182,710	37,748,410	13,227,410	211,169
繰越損益金	△ 55,004,488	△ 10,623,239	△ 7,216,932	—	△ 51,379,547	△ 14,716,352

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 1,162,091,101円
 作成期中追加設定元本額 3,791,103,508円
 作成期中一部解約元本額 434,795,733円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.1913円です。

②分配金の計算過程

項 目	2017年3月22日～ 2017年4月18日	2017年4月19日～ 2017年5月18日	2017年5月19日～ 2017年6月19日	2017年6月20日～ 2017年7月18日	2017年7月19日～ 2017年8月18日	2017年8月19日～ 2017年9月19日
費用控除後の配当等収益額	6,729,054円	8,306,868円	10,180,651円	14,986,464円	16,875,896円	23,831,139円
費用控除後・繰越欠損金繰戻後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	54,213,938円	—円	—円
収益調整金額	596,428,441円	718,198,795円	1,039,781,195円	1,361,664,233円	1,769,123,710円	1,963,197,944円
分配準備積立金額	27,074円	41,376円	22,894円	180,392円	37,138,936円	12,979,060円
当ファンドの分配対象収益額	603,184,569円	726,547,039円	1,049,984,740円	1,431,045,027円	1,823,138,542円	2,000,008,143円
1万円当たり収益分配対象額	4,493円	4,451円	4,400円	4,523円	4,469円	4,426円
1万円当たり分配金額	100円	100円	100円	100円	100円	100円
収益分配金金額	13,423,203円	16,321,786円	23,859,132円	31,632,384円	40,787,422円	45,183,988円

○分配金のお知らせ

	第58期	第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	100円	100円	100円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2017年9月19日現在）

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(1,197,930千円)の内容です。

国内その他有価証券

区 分	第63期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,199,998	% 98.4

（注）比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

<参考>投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラス
運用方針	主としてインドの現地通貨建て債券等に投資することにより安定した収益の確保および信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合には、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主要運用対象	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一発行体が発行する社債および短期金融商品への投資比率は、純資産総額の10%以下とします。 ・ 一銘柄あたりの投資比率は、発行残高の10%以下とします。 ・ デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。 ・ 純資産総額の50%以上を、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する債券または短期金融商品に投資するものとします。
決算日	原則として、毎年12月31日
分配方針	原則として、毎月最終営業日に経費控除後の利子収益および売買益等から分配を行う方針です。

損益計算書、投資家持分純資産、投資有価証券明細表はAMUNDI PREMIA-AMUNDI INDIAN BOND FUND FINANCIAL STATEMENTS 31 December 2016版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、アムンディ・インディア・ボンド・ファンドで掲載しています。

(1) 損益計算書 (STATEMENT OF TOTAL RETURN)
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド
 (2016年12月31日終了年度)

米ドル

収入	
金利収入	140
控除：費用	
監査費用	11,480
カストディアン費用	8,954
運用報酬	156,475
助言費用	5,312
登録費用	6,410
信託費用	36,000
取引費用	330
その他費用	10,010
	234,971
純支出	(234,831)
投資収益	
実現損益	2,043,424
外国為替先渡取引実現損益	351,437
先物取引実現損益	21,512
外国為替取引実現損益	(47,635)
	2,368,738
税引き前損益	2,133,907
控除：所得税	(98,767)
税引き後配当前収益	2,035,140

(2) 投資家持分純資産
 アムンディ・インディア・ボンド・ファンド
 (2016年12月31日終了年度)

	米ドル
決算期初における投資家持分純資産	27,320,538
オペレーション	
オペレーションにより変化した投資家持分純資産	2,035,140
投資行動による投資家持分純資産の増減	
設定	4,846,544
解約	(7,186,116)
設定解約による投資家持分純資産の増減	(2,339,572)
分配金額	(1,080,147)
投資家持分純資産の増加/(減少)合計額	(1,384,579)
決算期末における投資家持分純資産	25,935,959

(3) 投資有価証券明細表

アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2016年12月31日現在)

業種別	保有額面	時価評価	投資家持分 純資産対比
		米ドル	%
時価評価債券			
銀行			
Asian Development Bank Series GMTN 1.125% 05/06/2018	1,500,000	1,496,483	5.77
Asian Development Bank Series GMTN 1.875% 18/02/2022	2,000,000	1,967,240	7.59
HDFC Bank Limited EMTN REG 3% 06/03/2018	600,000	604,464	2.33
ICICI Bank Limited/Dubai Series GMTN REG 3.125% 12/08/2020	500,000	499,477	1.92
		<u>4,567,664</u>	<u>17.61</u>
電力			
Adani Transmission Limited Series 4% 03/08/2026	800,000	757,524	2.92
電気事業			
Nuclear Power Corporation Series XXXA 8.14% 25/03/2026	150,000,000	2,344,018	9.04
エネルギー			
Reliance Holding USA Incorporation 5.4% 14/02/2022	500,000	540,435	2.08
金融			
Power Finance Corporation Series 125 8.65% 28/12/2024	100,000,000	1,571,165	6.06
食品			
Food Corporation of India Series 6 9.95% 07/03/2022	100,000,000	1,644,114	6.34
政府			
Government of India 7.28% 03/06/2019	100,000,000	1,502,726	5.79
Government of India 8.12% 10/12/2020	50,000,000	776,794	3.00
Government of India 8.15% 24/11/2026	150,000,000	2,413,161	9.30
Government of India 8.19% 16/01/2020	100,000,000	1,540,555	5.94
Government of India 8.28% 21/09/2027	50,000,000	811,600	3.13
		<u>7,044,836</u>	<u>27.16</u>
石油ガス			
Indian Oil Corporation Ltd EMTN 5.75% 01/08/2023	200,000	219,864	0.85
Reliance Industries Ltd 4.125% 28/01/2025	1,200,000	1,195,770	4.61
		<u>1,415,634</u>	<u>5.46</u>
公益			
Power Grid Corporation of India 3.875% 17/01/2023	500,000	501,897	1.94
Power Grid Corporation of India Series C 8.2% 23/01/2025	100,000,000	1,533,653	5.91
		<u>2,035,550</u>	<u>7.85</u>
未収経過利息		470,853	1.82
投資資産		22,391,793	86.34
その他純資産		3,544,166	13.66
投資家持分純資産		<u>25,935,959</u>	<u>100.00</u>

マネー・マーケット・マザーファンド

《第25期》決算日2017年5月22日

[計算期間：2016年11月22日～2017年5月22日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月22日に第25期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
21期(2015年5月20日)	10,183	0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562
24期(2016年11月21日)	10,184	0.0	24.4	—	4,420
25期(2017年5月22日)	10,184	0.0	—	—	1,681

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率
(期首) 2016年11月21日	10,184	—	24.4	—
11月末	10,184	0.0	27.9	—
12月末	10,184	0.0	11.9	—
2017年1月末	10,184	0.0	11.6	—
2月末	10,184	0.0	5.9	—
3月末	10,184	0.0	6.2	—
4月末	10,184	0.0	—	—
(期末) 2017年5月22日	10,184	0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

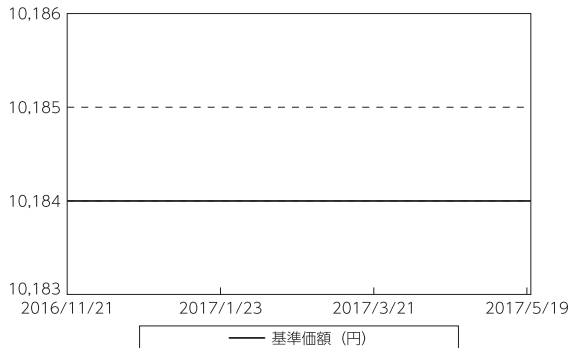
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日本銀行は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は、マイナス金利の適用以降であることから、マイナス圏で推移しました。2017年5月22日のコール・レートは-0.051%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間の短い社債を組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日本銀行の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や適正な流動性の保持をめざした運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年11月22日～2017年5月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2016年11月22日～2017年5月22日)

公社債

		買付額	売付額
国内	社債券	千円 -	千円 300,314 (777,900)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 178,799,922	千円 180,299,921

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月22日～2017年5月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年5月22日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期	末
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,599,999	% 95.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2017年5月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,599,999	% 94.2
コール・ローン等、その他	98,830	5.8
投資信託財産総額	1,698,829	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年5月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,698,829,231
コール・ローン等	98,829,950
その他有価証券(評価額)	1,599,999,281
(B) 負債	16,981,227
未払解約金	16,981,064
未払利息	163
(C) 純資産総額(A-B)	1,681,848,004
元本	1,651,473,732
次期繰越損益金	30,374,272
(D) 受益権総口数	1,651,473,732口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,184円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,340,785,954円
 期中追加設定元本額 377,829,430円
 期中一部解約元本額 3,067,141,652円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0184円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	284,151,127円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	62,265円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	283,694,306円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,383,955円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	26,506,400円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	393,503円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	5,744,737円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	9,071,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	551,512円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	407,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	80,349,636円

○損益の状況 (2016年11月22日～2017年5月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,317,144
受取利息	1,357,953
支払利息	△ 40,809
(B) 有価証券売買損益	△ 1,220,116
売買損	△ 1,220,116
(C) 当期損益金(A+B)	97,028
(D) 前期繰越損益金	79,760,468
(E) 追加信託差損益金	6,951,980
(F) 解約差損益金	△56,435,204
(G) 計(C+D+E+F)	30,374,272
次期繰越損益金(G)	30,374,272

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	1,364,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,647,957円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	3,491,498円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	31,208,972円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	756,099円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	684,529円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	12,561,714円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	69,931円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158,381円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40,278円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955,887円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	924,121円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカム分散コース<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	12,234,366円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	348,598円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,834,580円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	14,819,878円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3,123,514円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,312,527円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (毎月分配型)	24,184,985円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	4,117,720円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	105,642円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルールコース> (年2回分配型)	1,809,102円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	2,984,793円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	2,557,537円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	8,473,583円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	2,464,335円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	5,920,244円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円

三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	3,175,643円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	679,527円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,551,577円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	25,781,668円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	4,824,746円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,636円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,377,211円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	412,412円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	982円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	982円
N a v i o インド債券ファンド	885,566円
N a v i o マネーボールファンド	4,243,064円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	315,194,509円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	9,993,280円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	6,526,415円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	21,620,196円
合計	1,651,473,732円